

環境基本計画達成目標進捗調査票

1. 環境学習社会づくり

達成目標	指標	単位	担当課									目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
				H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2				
市域において環境学習の機会が増える！	環境学習および活動の企画・実施サポート件数	件	くさつエコスタイルプラザ	目標値	(136)	→			140	→		150	環境啓発の拠点である「くさつエコスタイルプラザ」が新しいクリーンセンターにできたことから、当プラザでのワークショップ等が増加したものの、教材の貸出件数が減少し、市内の環境学習情報の市ホームページによる情報発信が十分に行えなかった。	環境学習情報等を積極的に収集し、市ホームページやイベント等で発信するとともに、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣の内容を充実させ、地域での環境学習の機会を拡充している。 また、環境学習の充実を図るため、くさつエコスタイルプラザの運営事業やエコミュージアムの推進事業の一部をNPO等が担えるよう推進する。
				実績値	136	128	107	97	115					
環境学習に参画する市民が増える！	子ども環境会議参加団体数	団体	くさつエコスタイルプラザ	目標値	(50)	→			57	→		65	開催日程などの要因により、参加団体は、前年度に対し1団体(子ども)増加したものの、3団体(大人)減少したため、計2団体減少した。しかしながら、出展ブース数は、前年度87ブースに対し、10ブース増加し97ブースの参加となった。また、市内の小中学校は全校参加があった。	今年度は、新たな環境啓発の拠点である「くさつエコスタイルプラザ」でも環境会議を開催し、来年度は子ども環境会議が第20回目を迎えることから、子ども環境会議が起点となって環境活動の輪が広がるよう内容の充実を図るべく検討するとともに、企業や団体等を勧誘することで参加団体数の増加を図り、また小学校へ個別訪問し、参加者の増加を図る。
				実績値	50	61	53	57	55					

2. 低炭素社会への転換

達成目標	指標	単位	担当課									目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
				H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2				
地球温暖化対策に関する市民活動が活発である！	地球温暖化対策に取り組む市民の割合	%	くさつエコスタイルプラザ	目標値	(37.2)	→			56.0	→		75.0	環境に対する潜在的意識が向上しており、省エネ行動等が「地球温暖化対策」であると意識しながら取り組んでいる市民が減少している可能性がある。	現在「愛する地球のために約束する草津市条例」の見直しを行っており、温暖化防止だけでなく、気候変動適応についても周知を図り、環境にやさしい週間や温暖化防止月間等のイベント、くさつエコスタイルプラザでの活動を通じて、市民意識の向上を図る。 また、より多くの市民の自発的な環境活動への動機づけとなるよう環境省が承認するエコアクションポイントを活用した事業を推進する。
				実績値	37.2	35.3	33.2	31.2	33.5					
地球温暖化対策に関する企業活動が活発である！	愛する地球のために約束する協定者数	者	くさつエコスタイルプラザ	目標値	(45)	→			72	→		100	協定締結に係る通知を送付し、訪問に了解を得た企業に対し事業説明を行い新たに2者と協定を締結したものの、2者との協定を更新することができず、協定者数の増加には至らなかった。	H30において、協定書の締結事務の簡素化を行った。また、「愛する地球のために約束する草津市条例」の見直しに伴う適応策の周知と併せて、協定事業の周知活動を積極的にを行い、事業所出前講座等の企業のメリットとなる事業の周知と併せて、企業や団体等を個別に勧誘することで協定者の増加を図る。
				実績値	45	45	45	46	46					

3. 資源循環型社会の構築

達成目標	指標	単位	担当課									目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題	
				H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2				
家庭からでるごみの量が減る！	1人1日当たりの家庭系ごみ量(資源ごみ除く)	g/人・日	資源循環推進課	目標値	(438.9)	→			432.7	→		427.2	平成30年3月に新クリーンセンターが稼働し、ごみの搬入の利便性が向上したことにより、搬入量が増加したことも要因のひとつとして考えられる。	引き続き、焼却ごみに含まれる食品ロスやごみの3R等について広報くさつやホームページ、ごみ分別アプリなどを活用し、啓発を行うとともに、ごみ問題を考える草津市民会議と協働で宿場まつりやリサイクルフェア、各学区のふれあいまつり等のイベントを通じて啓発を行う。
				実績値	438.9	434.9	426.8	427.1	439.2					
事業所からでるごみの量が減る！	1人1日当たりの事業系ごみ量	g/人・日	資源循環推進課	目標値	(295.6)	→			291.2	→		282.4	平成29年度の目標値を達成できており、事業所訪問による指導の成果が出ていると考えられる。	事業所へ直接訪問し、ごみの適正処理・減量化・資源化につながるよう啓発を行うとともに、月2回以上のごみを排出する多量排出事業者に対しては、減量計画書の提出を義務付けており、今後も指導を継続していく。
				実績値	295.6	283.0	277.9	280.7	283.4					

環境基本計画達成目標進捗調査票

4. 自然とともに生活する環境づくり

達成目標	指標	単位	担当課		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題
多種多様な生物が生息する空間が増える！	自然環境保全地区	地区	環境政策課	目標値	(16)			17			18	候補地の大宮若松神社へ、新規指定に向けて働きかけと手続きを進め、平成31年4月1日付で指定をした。	新規指定を目標に、環境アドバイザー制度等を利用しながら、新規指定の可能性のある地域も含め調査等を進めていく。
				実績値	16	16	16	16	16				
市内農業・農業者と交流を持つ市民が増える！	農業体験に参加した人の数	人【延べ】	農林水産課	目標値	(1,807)			1,850			2,000	目標値未達成の主な要因としては、市内14小学校の内、1校が台風の影響で「たんぼのこ体験事業」を実施することができなかったため、農業体験した児童が減少したと考えられる。	市内小学校の全児童が農業体験をできるように、引き続き小学校へ支援していく。
				実績値	1,807	1,805	1,768	1,885	1,681				

5. 環境汚染・公害への適切な対策

達成目標	指標	単位	担当課		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題
環境基準が常に達成されている！	環境管理基準(BOD)の達成状況	達成回数 測定回数	環境政策課	目標値	(23/24)			24/24			24/24	狼川で目標値を超過したことが数回あったため、別途狼川の詳細な水質調査を行ったが、原因の特定はできなかった。	冬場に環境管理基準を超過している傾向があったことから、河川調査と並行して、冬場に狼川流域の事業所の排水調査を実施し、環境負荷が高いと思われる事業所については河川の水質の改善に向けて協力を求めている。
				実績値	23/24	24/24	22/24	23/24	19/24				
市内の水洗化が向上する！	水洗化率(処理区域内水洗化人口/処理区域内人口)	%	上下水道施設課	目標値	(96.1)			96.1			96.0	人口流入に伴う宅地開発増、ならびに農業集落排水の一部公共下水道切替により下水道接続人口の割合が増えたため。	農集排の完全切替普及率99.6%超の整備概成を迎えるが、水洗化啓発は飽和状態であり、尿・浄化槽汚泥処理施策との連携により下水接続促進を図る。
				実績値	96.1	96.6	96.7	97.0	97.8				

6. うるおい豊かな環境づくり

達成目標	指標	単位	担当課		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値の達成または未達成理由	改善策および今後の課題
市民が利用できる公園・緑地が増える！	公園・緑地面積	ha	公園緑地課	目標値	(75.9)			85.0			95.0	開発に伴う公園の帰属により、公園・緑地面積が増加し、目標値を達成することができた。	今後も、都市公園の整備を推進する。
				実績値	75.9	79.1	88.6	88.9	90.9				
誰もが快適で心地よいと感じる場所が増える！	市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合	%	都市計画課	目標値	(32.6)			38.0			45.0	重点地区の指定による歴史的まちなみ景観形成や、湖岸の視点場整備や東海道統一案内看板設置など眺望景観や歴史景観の保全・活用への取り組みが評価されたと考えられる。	重点地区の無電柱化実施に向けた検討を進め、視点場のPRや東海道統一案内看板の普及に向けて市民等の意見を聴き向市景観基本計画・各市景観計画へ反映する必要がある。
				実績値	32.6	32.3	33.7	32.5	36.0				